

(4班) 7 柴尾希音 さん 岱明中学校「子ども食堂について」

岱明中学校3年、柴尾希音です。
私は子ども食堂について提案します。
提案しようと思ったきっかけは家族に「玉名市アンダー18まなびの議会」の話をしたときに、母の職場で子ども食堂の話が上がったと聞いたからです。母の職場は子育て支援センターで、お母さん達と会話する中で「子ども食堂があるといいよね」という話があったそうです。確かに、1人親のところや子供が多い家庭だと仕事をしながらご飯を作るのは大変だと思いました。
インターネットで「子ども食堂」を調べると、「子供が一人でも行くことのできる無料または低額の食堂です。子ども食堂のメリットは『誰かと一緒に食事ができる』『無料または安価で食事ができる』『地域の人とつながりができる』とあり、とてもユニバーサルな取り組みであると書いてありました。
とても良い取り組みだと思います。だから、子ども食堂をたくさん作ってほしいという提案をします。以上です。

答弁者:健康福祉部長

岱明中学校 柴尾 希音議員の「子ども食堂について」お答えいたします。
地域のボランティアさんたちが子どもたちに対し、無料または安い金額で栄養のある食事や温かな団らんを提供する「子ども食堂」が全国各地で開設されており、その数は令和5年度で9,132か所となっています。
子ども食堂は子どもの食育や居場所づくりだけでなく、高齢者や障害者を含む地域住民の方々の交流の場所になっているところもあり、人と人がつながり、みんなで一緒になって地域を作っていこう、見守っていこうという活動の拠点としてもとても重要な場所となっています。
一方で、昨年、民間団体が全国の子ども食堂等に対し実施したアンケートでは、運営主体の約8割が、市民活動やボランティアといった任意団体またはNPO法人、あるいは個人で実施されているという現状が報告されました。また、子ども食堂に対する周囲の理解不足や、子ども食堂を「貧困」と結びつけることにより、本当に困っている人が遠ざかることもあることから、子ども食堂を運営するにあたり最も困っていることとして「貧困家庭など必要な人に周知・広報し支援を届けること」が27.2%で最も多く、次いで「運営資金の不足」が22.4%、「運営スタッフの不足」が12.5%という結果でした。
本市におきましては、現在2つの民間団体で、2か所の子ども食堂が運営されており、1か所は毎週木曜日午後5時から午後9時まで、もう1か所は毎月第2、第4土曜日午前11時30分から午後1時まで実施されています。

私たちが柴尾議員が質問されたとおり、もう少し子ども食堂が増えてほしいと思っておりますが、運営する団体や運営資金、スタッフ、あるいはどこで実施するかなどの課題があり、なかなか増えない状況です。

今後は、子ども食堂に関する情報を HP に掲載するなど子ども食堂を身近に感じ、興味を持ってもらえるような環境をつくとともに、現在運営されている団体とも連携しながら子ども食堂が増えるよう努めてまいりたいと思います。